

水稲初期除草剤による雑草防除

古川農業試験場・農業センター

1 取り上げた理由

水稲初期除草剤について検討した結果、実用性が認められたので参考資料とする。

2 参考資料

1) 有効成分及び薬剤名等

ペントキサゾン水和剤(商品名：ベクサーフロアブル)：2.9%

性状：類白色水和性粘稠懸濁液体 毒性：人畜毒性 普通物，魚毒性 B類

対象雑草名 一年生雑草：ノビエ，タマガヤツリ，コナギ，広葉雑草

多年生雑草：マツバイ

2) 使用方法

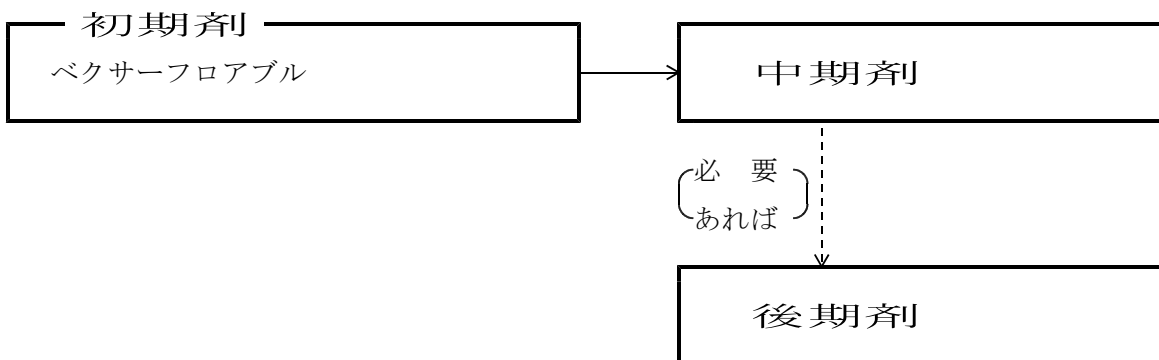
使用時期・回数：植代後～田植前4日，又は田植直後～5日(ノビエ発生始)までに1回

使用量：10a当たり500ml

土壌条件：壤土～埴土，日減水深2cm以下

散布方法：原液湛水散布。又は，水口処理。

3) 防除体系



3 利活用の留意点

- 1) 後処理剤との体系で使用する。
- 2) 植代直後の散布に当たっては，効果を安定させるため，土が落ち着いてから散布する。
- 3) 苗が水没するような深水状態では，葉鞘褐変や流れ葉が生じるおそれがあるので水管理に注意する。
- 4) 軟弱徒長苗，極端な深植え，浅植えでは初期生育を抑制するおそれがあるので使用しない。
- 5) れんこん，くわい，せりなどの生育を阻害するおそれがあるので，散布田の水田水がこれらの作物に流入しないようにする。

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

新資材による育苗及び成長調節剤並びに雑草防除に関する試験 平成8・9年 農業センター
 化学物質による生育調節・雑草防除及び新資材に関する試験 平成7年 古川農業試験場
 農薬展示試験 平成10年 亘理, 古川, 迫, 石巻地域農業改良普及センター

2) 参考データ

表1 使用方法と除草効果及び水稻への影響

試験名 (除草剤名)	試験場所	年度	田植後の 処理時期	処理量 (ml/10a)	除草効果		水稻への影響
					一年生雑草	多年生雑草	
KPP-314㊟フロアブル	農業センター	平8 ¹⁾	+0	500	極大	極大	無
		平9 ²⁾	+1	500	極大	極大	無
(ベクサーフロアブル)	古川農業試験場	平7 ³⁾	-4, +0, +5 → (+21)	500	極大	極大	無

注1) 畦畔処理。処理時のノビエは、発生前。

注2) 水口処理。処理時のノビエは、発生前。

注3) DPX-84M粒剤(+21)との体系処理。処理時のノビエは、発生前。

注4) 除草効果：残草率 極大10%以下, 大11~20%, 中21~40%, 小41~60%。

表2 平成10年度農薬展示試験成績

除草剤名	試験実施普及センター成績									備考 (対照薬剤)
	大河原	亘理	仙台	古川	小牛田	築館	迫	石巻	本吉	
ベクサーフロアブル	上段	+7		+0			-5	-4		エリシヤン 乳剤
	中段	-		-			-	-		
	下段	A		A			A	A		

注) 各欄の数字の見方 (上段：田植後処理時期(日)
 中段：処理時のノビエ葉齢(前：発生前, 始：発生始, -：未発生)
 下段：総合評点(A：普及上問題なし, B：更に検討したい。)

3) 発表論文等 無し

平成11年度県防除基準

平成11年度県稲作指導指針

参考価格：ベクサーフロアブル剤 870円(500ml)